

人と人との絆 次世代につなぐ協同の輪

Ever Green

5
2018
Vol.291

|特集| 解説!生産部会





太陽の下で働きたい、 そう思ったんですよ

もも生産者 太田安敏さん

今月の
巻頭

第6回フォトコンテスト入選作品

「このひと手関が大切」 西澤 昭夫



表 賞 審査員特別賞

撮影場所 大岡

題 評 静けさを感じる田園に黙々と田植えをする人物、そして水に写り込む空のコントラストをいいタイミングで捉えた作品です。機械化が進む中、手作業の大切さを教えてもらえます。

目次

Green Spot 人	2
Green Topics JA	
定期総会・販売促進大会で 30年度の方針を確認	4
Special Issue 特集	
解説!生産部会	8
Member's Power	12
健康長寿学	14
農力アップ塾	16
Green Information	18



花摘み作業をすすめる



咲き誇るももの花

「川中島」でももづくり

川中島町今里で両親ともも栽培に取り組む太田安敏さん。東京で25年ほどシステムエンジニアとして勤めた後、実家のあるこの地に戻って就農し、3年目の春を迎えています。

太田さんが就農を考えたのは37歳の時、体調を崩したことがきっかけ。病院のベッドの上で、「毎日満員電車で揺られるよりも、太陽の下で働きたい」と「人生を見つめ直した」といいます。しかし、非農家で農業経験がないこと、また資金面にも不安を感じたことから、定年後の就農を夢見て会社勤めを続けます。40代後半を迎え、早期退職制度を知った太田さんは、「(農業を)始めるなら少しでも早い方がいい」と就農を決意。長野県農業大学校の新規就農里親前基礎研修を受講し、1年ほど果樹・野菜栽培について学びを深めるなか、心に秘めていた「ももをつくりたい」という想いを膨らませます。この想いの実現に向けて、研修と平行して園地探し。実家近くに果樹園を借り、49歳の春に農家としての1歩を踏み出しました。ももを選んだ理由を聞くと、「川中島」だからですね」とキッパリ。「りんごやぶどうも興味はありましたが、川中島のももっておいしいんだよ」と伝えたい、そう思ったんですよ」と笑顔を見せます。

挑戦・失敗を大切に

自身も、家庭菜園で野菜をつくる両親も、もも栽培の経験は「ゼロ」。基礎研修の知識を生かすとともに、JA営農技術員、果樹研究会、地域の先輩から教わりながら奮闘します。しかしそこに苦労は全く感じず、「何をやっても新鮮で、気付くことばかり。樹の上で遠くを見つめながらする作業も、先をイメージしながらやるせん定も、もちろん収穫も、楽しくて好きですね」と目を輝かせる太田さん。指導や書物で理解を深めつつも、「何事もまずやってみないとわからないし、失敗することが大事」と、疑問を持ったり思いついたことがあれば、例え指導から逸れた内容でも自分で試験し、考察・納得、時に失敗した上で、栽培に生かすことを大切にしているといいます。「会社では思いきったことをやりにくく、失敗したら自分にではなく会社に戻ってくる。でも今は良いことも悪いことも自分でやったことは、結果として自分に返ってくる…それが、勤め人との大きな違いで、自分には合っているのかも」と、挑戦ができる喜びと責任、そして農業の魅力を実感しています。

だれもが“おいしい”と言ってくれる“もも”をめざして

ももの耕作面積のうち半分は幼木で、収量の向上はまだまだこれから。いづれブレーン園も「もも」に改種し、さらに面積拡大をはかりたいと意欲を燃やしています。そのためにも、労力軽減を目的に、品種構成の見直し・検討、マメコバチの導入、土壌改良、疎種低樹高栽培法への切り替えなど、「試行錯誤」の真っ最中だといいます。その先に描くのは、「だれもが“おいしい”と言ってくれるももをつくりたい」という想い。「まずは、昨年失敗したことは、今年こそうまくやって…早く経営を軌道に乗せたいですね」と目標を語る太田さんは、太陽の下、四季折々の風を肌で感じる事ができる農業に喜びを感じながら、「もも色」に染まる園地で挑戦を続けています。

プロフィール

名 前	……太田 安敏さん
年 齢	……51歳
営 農 地 域	……川中島町今里
栽 培 品 目	……もも・ブレーン
(経営規模)	……(成木・幼木あわせて50アール)
農 業 従 事 者	……本人、両親

定期総会・販売促進大会で30年度の方針を確認

各部会では、29年度の部会活動を振り返るとともに30年度の活動方針を決める「定期総会」「販売促進会議」を開催し、生産者・JA・関連団体が、意思結集をはかりました。

生産拡大へ意欲をもって

野菜部会は、篠ノ井のグリーンパレスで4月26日、56人が出席して定期総会を開催。5議案を審議するなか、29年度は気象災害で苦戦しながらも3億9千万円の実績を収めたことを確認しました。30年度は地域の気候に合った品目を推進し、産地基盤の強化・拡大をはかる方針で一致しました。



産地維持につとめようと話す松澤伸治部会長

一人76万円を目標に

A・コープ直売会は、篠ノ井のグリーンパレスで4月23日、202人が出席して定期総会を開催。29年度は、会員が千人の大会に乗るとともに、生産販売高が目標の7億3千万円を達成したことを確認しました。

30年度は、各生産者がさらに意欲と技術の向上をはかり、会員一人あたり76万円を努力目標に、全体で7億6千万円をめざす方針を承認しました。



拍手で目標を承認する会場

対策徹底し産地維持を

水稲採種部会の定期総会は、信田支所で4月9日、60人が出席して開催。4議案を審議し、30年度は、285千kgを目標に、徹底した対策で県内有数の種もみ産地の維持をはかる方針へ意思を結集しました。

小林茂晴部会長は、「英知を出し合い、収穫期には部会全員全員が、あよかった」と思えるよう、努力を重ねようと呼びかけました。



議案を審議する会場

一体となった生産販売を

ぶなしめじ部会・えのきたけ部会は4月10日、篠ノ井のグリーンパレスで、「きのご販売促進大会」を開きました。部会員ら27人が出席し、JAや重点取引市場に対し、30年度も一体となった生産販売を要請しました。神農組合長は、「これからの農業は、生産者とJAはもちろんだが、行政、市場やその先まで、全員で守っていく時代。改めてその意識で頑張ろう」と呼びかけました。



取扱拡大を要請する島田政修部会長

【新年度部会代表者名(敬称略)】

野菜部会…峯村哲夫 画売会…宮尾真二 水稲採種部会…高沼教人 えのきたけ部会…林昭夫 ぶなしめじ部会…宮尾隆義 EverGreen 4

地域の果樹生産拡大をめざして

真島フルーツセンターと川中島共選所は、30年度の果樹生産スタートにあわせ、各地域の果樹生産の維持拡大とJAへの出荷を通じた手取りの向上をはかること、「生産者大会」を開きました。



大会スローガンを読み、意欲向上をはかる会場

要望に沿う生産を

真島フルーツセンターが、更北公民館真島分館で4月5日に開いた生産者大会には、生産者や重点取引市場ら65人が出席。生産者は果樹品目の販売環境や需要の動向をふまえた「市場の要望」を聞き、要望に沿う生産出荷に取り組み、手取りの向上と地域の果樹生産拡大をめざす考えを共有しました。

健康維持して次世代育成

川中島共選所が4月6日に開いた園芸生産者研修大会には、130人が出席。生産者が「健康」を維持して生産拡大に取り組むことをめざして南長野医療センター・井総合病院を講師に健康への知識を深めました。また、「担い手を地域のみんなで育て次世代へ」を合言葉に、次世代の育成と生産振興をはかる方針を確認しました。



減塩のポイントなど食生活改善へ知識を深める会場

担い手育成・支援へ講座を開講

JAは、農作業の本格スタートにあわせ、農業の担い手育成支援を目的に、農業の基礎知識・技術の伝授する農業講座を開講しました。

果樹の栽培技術を磨く

川中島共選所では、川中島地区の生産者に向け、ももとブルーイン栽培を指導する「川中島果樹セミナー」を4月2日に開講しました。今年も11人が受講。営農技術員が、「摘らい」等の生育管理法や凍霜害対策を説明しました。初受講の男性は、「見よう見まねでやってきて、分からないことがばっかり。技術をしっかり学びたい」と話しました。



樹を見ながら基礎知識を増やす受講生

農業の入り口に

定年帰農者を中心に、農業初心者を対象にした「グリーン農業講座」を4月14日に開講しました。今年も54人が受講し、年間に渡って基礎を身に付けます。初回は篠ノ井のグリーンパレスで、果樹・野菜・花き・水稲栽培の管理法や、推奨品目の特徴などを学習。営農部担当は、「この講座を農業の入り口に、広く浅く学んで、ステップアップにつなげてほしい」と話しました。



真剣に学びを深める受講生

野菜 春作業盛んに

野菜部会では、春の管理作業や収穫出荷がスタートしています。

共同作業でコスト削減

ジュース用トマト専門部は4月13日、篠ノ井の育苗センターで、トマト苗の鉢上げ作業を行いました。生産者とJAら25人が参加。共同作業によって、苗代の削減につながっています。参加者は、浅植えに注意しながら手際良く作業をすすめ、約2万本の苗を移植。生産者は、「良いトマトを出荷できるよつに気持ちを込めたい」と話し、作業に励んでいました。



移植作業をすすめる生産者

販売適期に出荷を

葉野菜専門部では、4月18日から露地栽培のレタスの出荷を始めました。これにあわせて「出荷講習会」を若穂果実流通センターで同日に開き、生産者ら12人が出席しました。講習会では、JA担当が観合産地の情勢や、出荷の注意点等を説明。4月末までを販売適期と見込み、規格を守った出荷をすすめていくことを確認しました。兼村哲夫同専門部若穂地区長は、「品物にバラつきが無いよう、出荷をすすめるよう」と呼びかけました。



出荷の意気込みを語る生産者

遊休農地でレタス収穫

JAの子会社㈱ジェイエイグリーン農業経営部も4月18日から「サニーレタス」の収穫をスタートさせました。今年はやせた遊休農地2は場、約50アールで栽培。温暖な陽気で生育が前進し、昨年比で7日ほど早く出荷スタート。4月下旬までに約2,500ケース(1ケース4kg)の出荷を見込み、農地の活用と野菜産地の維持・拡大、経営の安定化につながっています。



収穫作業をすすめる子会社従業員

農家組合に野菜栽培指導

営農部は4月21日、篠ノ井会の農家組合と地区住民ら25人に「野菜づくり」を指導しました。地区農家組合員が減少するなか、講習を通じて農業や組合に改めて関心を持ってもらい、地域農業の活性化につなげたいという組合の要請で初実施。営農技術員が、家庭菜園に生かせる技術を伝授しました。組合員の男性は、「講座を通じて改めて農家組合の意義を感じることができた」と感想を話しました。JAでは、地区農家組合の支援を強化する方針です。



苗の植え付けの注意点を説明する営農技術員

JAで趣味増やそう

JAでは、JAを擁護し、趣味や仲間の輪を広げてもらおうと、「JA生活文化教室」5講座を開講しています。今年は95人が受講し、1年を通じて活動を楽しまます。

このうち、「かごとバッグ教室」は4月12日に開講。新たに7人が受講し、総勢37人が31年1月に予定する作品展をめざし、製作に励みます。昨年の作品展を見て受講した女性は、「JAにこんな教室があるとは知らなかった。満足いく作品を完成させたい」と話しました。



バッグ材料の下準備法を学ぶ新規受講生



新人職員が利用者様に農産物を贈呈

支所利用で農産物を贈呈

20支所では、今年度も「ご来店感謝デー」を企画しています。これは2カ月に一度の年金支給日に合わせて開催。窓口をご利用いただいた先着千人の利用者様に、JA自慢の農産物を贈呈し、さらなる支所利用を呼びかけます。

初回は4月13日に開催し、職員が感謝をお伝えしました。

30年度のご来店感謝デー予定
 6月15日(金)、8月15日(水)、
 10月15日(月)、12月14日(金)、
 31年2月15日(金)

事業連携でグリーンカフェ盛況

高齢者の介護予防・健康増進をめざす「グリーンカフェ」では、厚生連病院との連携に加え、新たにJA営農部連携の野菜栽培講座も開催するなど、活動の幅が広がり、多くの参加者でにぎわっています。



野菜栽培講座を初開催
 (4月24日、川中島にて)



若穂病院による指先体操
 (4月26日、若穂にて)



農業機械の展示会も開催



お楽しみ抽選会で賞品も贈呈

春のJAアグリ祭を開催

アグリ3施設(まつしろ・しののい・南長野)は、4月21日・22日、「春のJAアグリ祭」を開きました。A・コープ、JAファーム、給油所等での特別価格販売や、農業機械の展示販売に、多くの来場客でにぎわいました。



解説!
生産部会

本誌でよく「■■部会は～」とご紹介することがありますが、農家以外の方には、馴染みのない言葉でしょう。今回の特集は、■■部会と表す……

“生産部会”を一挙ご紹介します!

組合員組織「生産部会」

JAには、「組合員組織」と呼ばれる組織があります。これは、組合員とJAをつなぐ“中間的な組織”であり、地域の農業の発展や組合員活動、JAの活性化のために大きな役割を果たしています。

組合員組織に分類される「生産部会」は、グリーン長野内で農作物をつくるJA組合員・生産者によるJA組合員・生産者のための組織。農作物の品目・品種ごとに組織し、加入者による自主的な運営を基本に、「共同販売活動」をすすめています。

JAは、会計上、生産部会とは別の組織体ですが、組合員のためのJAとして、また、JAの使命である「地域農業を守る」ために、部会と一心同体の精神で、部会活動を支援しています。

生産部会
以外の
組合員
組織

地域毎に組織された
地縁的な組織

- 集落営農組織
(農家組合
農事組合 など)

世代・性別・目的別組織

- 農業を担う若手で組織する青壮年部
- 豊かなくらしづくりをめざす女性部
- 特定の直売所で販売することを目的とした直売会 など

JAの利用者間交流を
目的とした組織

- 年金友の会
- 共済利用者の会 など

統合を経て産地維持を

生産部会の歴史は古く、農業協同組合法の制定(昭和22年)とJAの設立(昭和23年)を境に、JAを寄り処に個々の生産者が集まり、作物や地域ごとに設立されてきました。

グリーン長野の生産部会は、合併以前から各地域で品目ごとに運営され、合併に伴い、組織編成・運営が見直されてきました。現行の組織体に近くなってきたのは、平成9年度、えのきたけ部会、ほんしめじ部会(現ぶなしめじ部会)の統合がはじまり、10年度には花きと野菜部会が事業運営の効率化をふまえた統合。果樹品目は、JA若穂との合併後の数年間は「りんご・もも・ぶどう・新興果樹・若穂果樹部会」でしたが、16年度に若穂果樹部会が各部会に支部として加入し、現在の4部会編成となりました。

部会統合の際には、それぞれの地区の生産者の考えや、設立の経緯、その歴史から統合に対して反対の声がありました。しかし、「農業・産地を守り・盛り上げたい」というその想いは共通であることを認識し、まとまりが生まれました。統合を一つの契機に、グリーン長野の生産部会として、それぞれに新たな歴史を刻みながら、7地区を巻き込むより大きな枠組みでのなかで、多岐にわたる活動を実践し続けています。

組織力が「安全安心な産地」をつくる

生産部会がもつ「組織力」は、技術、情報、物量、販売力を柱に、「生産者」や「産地」に「市場」にさまざまな効果をもたらし、「生産者手取りの向上」や「産地の維持拡大」につなげています。また、消費者に安全・安心・新鮮な農産物をお届けすることにもつなげています。



国産！
生産部会

グリーン長野の生産者による生産部会は、30年4月末現在で次のような組織を編成しています。



生産専門委員会とは…

生産部門の役員によって組織され、各部会の課題や方針等を共有し、部会員へと情報をつなげます。また、JAへ生産者を代表して意見・要望を伝えるとともに、外部団体との会議等にも出席し、産地の意見を伝えます。

※きのこ専門委員会の中には、なめこ、しいたけそれぞれの生産者組合が組織されています。

入ろう！
部会

誰でも加入OK！

栽培に取り組み、JAに出荷いただく生産者のみなさまには「部会加入」がオススメです。知識や技術の向上、仲間の拡大は間違いなし！

部会費ってかかる？

全部会とも、部会費を徴収し、部会の運営に充てています。部会費を各部会員で均等に割ったものを均等割りと呼びます。また、部会によっては、出荷量に応じ、部会員の出荷精算金額のうち、一定の割合を部会費として徴収しています。部会費は、販売対策、振興対策等の部会活動はもちろんのこと、地域の農業を守り、次世代へつなげるために大切に活用されます。みなさまのご理解をお願いします。

のぞき！ 部会活動

「生産部会はどんなことをやってるの？」そんな疑問にお答えします！

トップセールス



▲市長も出席し市場等を会場に開催

JA常勤役員、生産部会長・部会員が参加し、市場やメディアに向けて農産物をPRします。注目を集め、販売拡大の機会となっています。

役員会



▲部会の計画などを話し合う

総会の意思決定にもとづき、部会の活動や生産方針を決定し部会員へと伝達します。また、部会員の意見をまとめ、役員を通じ、JAへと伝えます。

販売促進会議(大会)



▲市場へ生産者の声を届ける

重点市場と相対し、産地の状況を伝えるとともに、取り扱いの拡大を要請します。的確な産地情報の伝達と、市場との連携強化で、販路拡大につなげています。

食農教育活動



▲産地に農産物をPRする

農業の大切さ、喜びを次世代へ伝えることや、消費拡大を目的に、農産物の贈呈等を行っています。

このほか、県内外産地視察研修なども行っています

栽培講習会



▲ほ場での講習や
室内講習も実施▶

生育にあわせて部会・地区ごとに開催。全部会あわせて年間1,000回以上開き、品質向上・統一等に向け、営農技術員が栽培指導を行っています。

定期総会



▲部会全体・支店ごとに方針を
自身らで審議承認▶

部会の事業計画や予算などを審議し、部会の運営方針を決定するとともに、部会員の意思を結集します。

部会情報の配布



▲部会員が協力して配布し情報を共有する

作物の生育状況、作業の時期や方法、注意点、また部会講習会の日程等を伝える「部会情報」を適期に発行し、情報の適時共有をはかっています。

消費宣伝会



▲消費者に生産者が直接おすすめる

部会員が店頭立ち、農産物の特徴や栽培の喜びなどを伝えながら直接消費者に販売します。生産者の想いを直接伝えるとともに、消費者の反応を直接感じることができる機会となっています。

平成30年度は各部会の役員改選の年。新部長に“意気込み”を伺いました!

りんご部会

■部会員数
1,168人

若い人を含め
できるだけ部会員を増やして、
りんご生産を増やして
いきたいです。



中嶋 正 部会長

もも部会

■部会員数
1,042人

通期にしっかり
管理作業をすすめることを
徹底し、良いももを
つくっていきます。



須坂 修一 部会長

ぶどう部会

■部会員数
379人

品質の良いぶどうをめざし、
栽培技術の向上と販売力、
生産性をあげて手取り向上
につなげていきたいです。



深美 孝夫 部会長

新興果樹部会

■部会員数
319人

新品目・新技術の導入で
部会の活性化を
はかっていきます。



小山 英壽 部会長

野菜部会

■部会員数
356人

部会員と生産量を増やし、
良い出荷販売ができるよう
JAとともに
頑張っていきます。



峯村 哲夫 部会長

花き部会

■部会員数
148人

多くの品目があるなかで
専門部長が中心となって
みんなで良い品物をつくれるよう
頑張ります。



山岸 懿 部会長

えのきたけ部会

■部会員数
11人

生産者は10年前の半分と
なりましたが、
仲間と手を取りあって
頑張ります。



林 昭夫 部会長

ぶなしめじ部会

■部会員数
9人

ご期待にこたえる
より良いぶなしめじを
お届けできるよう
頑張ります。



宮尾 隆義 部会長

JAはこれからも生産部会
とともに歩み、生産者みなさ
まを支援してまいります。

部会員のみなさまは、
部会活動に参加を!

部会未加入の生産者さんは、
部会への加入を!

消費者のみなさんは、
部会の応援を!

よろしくお願ひいたします!

生産部会に関するお問い合わせ 営農部・生産販売部 ☎292-0930

部員の意見を反映させた“活力あふれる”活動をめざして

青壮年部



拍手で議案を承認する青壮年部員

青壮年部は、篠ノ井のグリーンパレスで4月16日、「定期総会」を開きました。青壮年部員、JA 役職員ら58人が出席。29年度の活動報告、30年度の活動方針等を盛り込んだ全4議案を審議しました。

議事では、昨年の総会を皮切りに、県内外におけるJA 農産物の販売・PR活動、児童に向けた食農教育活動、新支部設立による盟友の増員運動に取り組んできたことを塚本勇部長が報告。また、30年度の方針として、新支部の設立や部員増員に向けて青壮年部活動のPRや声かけ運動を継続し、さらに活動の幅を広げながら、「人づくり」「仲間づくり」

「組織づくり」による組織基盤の強化と、「担い手の夢の実現」と「活力みなぎる魅力あふれる活動」に取り組む方針を示すと、大きな拍手で承認されました。

神農組合長は、同部の農産物PR活動やJAの支えとなる活動に対し感謝を示すとともに、「JAは農業を守るための組織であり、農業の担い手であるみなさんに将来のJAを託したい。それに向けて、若手のみなさんが希望を一つでも成し遂げられるよう支援したい」と話しました。部長に再任した塚本部長は、仲間の協力へ感謝を伝えるとともに、「盟友みなさんの意見を反映させた活動をすすめたい」と協力を呼びかけました。



支援を約束する神農組合長

本部・総支部の活動方針を協議

女性部



30年度の女性部役員に就任した部員14人は、篠ノ井のグリーンパレスで4月19日、第1回目の役員会に臨みました。会議では、改めて役員を紹介・あいさつを行い、親睦をはかるとともに、3月末の総会で決定された事業計画にもとづき、部員の増員運動の具体案、研修旅行や食育活動実践に向けた活動内容について協議。広報誌への記事提供やJA イベントへの積極的な参加を通じてJAを拠点にした活発な活動をすすめていくことを確認しました。小林浜子部長は、「ここで話したことを総支部に戻って部員みなさんにつないでいただき、みなさんの意見を反映させた活動をしていきたいと思います」と呼びかけました。



活動内容を協議する女性部役員



東京都で農産物 PR

青壮年部は、生産販売部と連携し、東京都町田市で開かれた「町田さくらまつり」で消費宣伝会を開きました。部員とJA職員4人が芹ヶ谷公園会場で雪中貯蔵のりんごを中心に「屋直」をPRして販売しました。



雪中貯蔵のりんごをすすめる青壮年部員
(4月7日、東京都町田市にて)



温泉で部員間の親睦深めよう

女性部若穂総支部は、「お花見交流会」を開きました。温泉施設を会場に、総支部員間の親睦を深めるとともに、疲れを癒し、農業への英気を養うことを目的とした恒例行事。68人が参加し、温泉や交流を楽しみました。



各サークルの発表を楽しむ参加者
(4月24日、須坂市にて)



こめ油を知って活用を

JA女性カレッジは、「こめ油講座」を開き、42人が参加しました。製造元講師がこめ油について、米ぬか由来の機能性成分の効果を含む一方で、他の油に比べて「油酔い」の原因物質が少ないことを説明すると、参加者から関心の声。こめ油使用のおかきを実食した参加者は、「油っぽさを感じず、食べやすい」と話し、家庭での活用を検討していました。



真剣に講義を受ける会場
(4月3日、藤ノ井にて)

GreenConnect

グリーンコネクト協定先3JAからキラリと光る話題をお届けします！

近江 家族からの手紙に涙 入組直前研修会修了式



ハンカチで涙を拭う新入職員

グリーン近江は、平成30年度の新入職員28人を対象にした入組直前研修会を3月2日から約1ヶ月間にわたり実施しました。最終日の3月30日、本店で執り行った修了式では、新入職員の家族から預かった手紙を管理部職員が代読。スライドショーで人生の節目の写真が映し出されると、懐かしい思い出や家族の愛情に目頭を押さえたり、ハンカチで涙を拭う職員もいました。

高橋一言人事課長は「つらい時も自分を支えてくれる人がいることを忘れないでほしい。これからは、同期の仲間と共にJAで新しい思い出を作ってほしい」と言葉を贈りました。

大阪 食農教材本を寄贈



左から小林組合長、土屋教育長

グリーン大阪は4月10日、「農業とわたくしたちの暮らし」をテーマにした小学5年生向けの教材本約5,000冊を、管内の東大阪市立小学校51校に寄贈しました。

贈呈には、小林茂一組合長が東大阪市教育委員会を訪問。土屋宝土(ほうど)教育長に「小学生の食農教育にお役にください」と教材本を手渡しました。

この教材本は、JAバンク食農教育応援事業の一環として作成されたもの。小林組合長は、「グリーン大阪では、宮農渉外による出張授業や農業体験などでも協力しています。今後も、子どもたちが農業に関心を持ち、収穫のよろこびを知ってもらえるような食農教育活動を継続して行っていきます」と話しました。

鹿児島 7年目の絆チャリティウォーク



満開の桜の花に笑顔あふれる部員

JA鹿児島みらい女性部坂之上支部は3月28日、「絆チャリティウォーク・さくらの章」を開き、部員51人が参加しました。東日本大震災の復興支援を目的に平成23年からスタートし、春と秋に参加者から募金を集め、支援活動に取り組んでいます。

今年は桜の開花も早く、心地良い春の風と舞い落ちる花びらを眺めながら支店から鹿児島国際大学間の約3kmの道のりを1時間かけて歩きました。部員は「きれいな桜に大満足。満開の桜は最高」と笑顔があふれていました。

入枝沢子支部長は「数年ぶりに満開の桜を眺める事ができた。7年経った今でも復興が進んでいないので今後も支援活動を継続していきたい」と話していました。

★80
+

食事と健康

南長野医療センター篠ノ井総合病院 栄養科



病気を予防し、元気に長生きするためには、「食事」による健康管理が欠かせません。
「3食のエネルギー配分をバランスよく摂ること」を意識し、次のポイントに気を付け、食事を楽しみましょう。

ポイント ① 各食の栄養バランスを整える

毎食の献立に次の5つを取り入れ、栄養バランスを整えましょう。

1. 主食(ご飯やパン、麺など)…主にエネルギーの供給源
2. 主菜(魚介、肉、卵、大豆製品など)…主にたんぱく質の供給源。体の組織をつくるものになる
3. 副菜(野菜や芋、海藻、きのこなど)…主にビタミンやミネラル、食物繊維の供給源
4. 副々菜(汁物や漬物、低エネルギーの小さなおかずなど)
5. くだもの、乳製品など



ポイント ② 減塩目標〈男性…8.0g未満・女性…7.0g未満〉 (ただし高血圧のある人は男女とも6g未満)

生活習慣病を防ぎ健康を維持するための減塩目標は上記の通り。塩分を控えるためには次の点を意識しましょう!

1. 調味料に含まれる塩分を知る(濃口・薄口しょうゆは小さじ1杯で塩分1g、みそは小さじ1と1/3で塩分1gなど)
2. 酸味を生かす(酢や柑橘のしぼり汁など酸味のある材料をつかってバラエティーのある味付けにする)
3. 香辛料・香味野菜を利用する(ネギ・ショウガ・ニンニク・大葉・山椒・唐辛子・ごまなどを効果的に活用)
4. 献立全体で味のメリハリをつける(2~3品あるおかずのうち1品に濃く味を付け、他はごく薄味にするなど)
5. 麺類の汁は残す。汁物は1日1杯以下に(汁物はお椀1杯で約2gの塩分が含まれる)

ポイント ③ お酒は適量を守る(1日平均純アルコール約20g)

「節度のある適度な飲酒量」は1日平均純アルコール約20g。飲み方にも注意が必要です!

1. すきっ腹で飲まない
2. 食事の時に飲む
3. 週に2日の休肝日を

純アルコール20gの目安量

- ビールなら500ml
- ウイスキーならダブル1杯(80ml)
- チューハイなら350ml
- 日本酒なら1合
- ワインなら小グラス2杯(200ml)
- 焼酎ならコップ半分(100ml)

まとめ

日頃から食生活について意識し、考えることは大切です。健康な体づくりのためにも、ぜひ実践をしていきましょう。

参加しよう!



グリーンカフェ 川中島

開催	毎週火曜日 10時~12時
場所	コミュニティプラザ川中島(JA川中島支所)
5月15日	贈答寄せ植え(材料費別途)
22日	熱中症に注意しよう
29日	うたカフェ
6月5日	お休み
12日	健康太極拳 ~シニア太極拳部~

グリーンカフェ 若穂

開催	6月29日(金)10時~12時
場所	若穂ふれあいセンター(JA若穂支所向かい)
内容	読みかせと手あそび
両会場ともお申込み不要!参加費は100円です。	
グリーンカフェに関するお問い合わせ 生活部生活福祉課 tel.293-2061	

近くに あろJAい! グリーン長野

多くのみなさまにJA施設をご利用いただけるよう、営農・くらしに関わるさまざまな施設をご紹介します。

松代農業総合センター農産物直売所

松代町の松代農業総合センターでは「農産物直売所」を運営しています。野菜を中心に果樹など栽培が盛んな松代地区内にあり、長芋やキュウリ、トマト、葉物野菜、季節の果実など、生産者から出荷された新鮮な農産物が豊富に並んでいます。贈答用に大人気の長芋は、年中発送を承り中です。

この4月には店舗前に屋根が完成し、売場面積がさらに拡大!これにあわせて、JAでは、営業日・時間を拡大し、より多くのみなさまにご来店いただけるよう、営業をスタートしています。今後イベントも随時企画!

A・コープ直売所とはまたひと味違った品ぞろえで、みなさまのご来店をお待ちしております!



松代農業総合センター農産物直売所

住所 長野市松代町東寺尾35-88
電話 278-9595
営業日程 12月まで無休 ※昼休有
営業時間 平日 9:00~16:00
土・日・祝日 9:00~14:00

舊佛会信衆の春の遅ければ萬花の祝い望めず淋し
 パスを待つ煩さず風は身中也頭中をめぐる春彼岸の朝
 ひとときを懸命に咲きいる花々にこたわりもせず彼岸に雪降る
 春なのに暑さは夏日背には汗雑草取りや蛙顔を出す
 梅の花満開の夜満月でコウコウてらし手を合すかな
 水漕みて川底見えし千曲川今は汚染され濁流と化す
 暮終え花々と目を過ごし庭の黄色のクロッカス咲くに気付きぬ
 デーサーピス退屈しのぎは大間違い老いてひとりで生きる大試練
 日本の種子をローカル守らねば食料自給向上放棄

下平 番場 道仁
 上布 施 穂苅 勲子
 小島 田 松井 信子
 大 岡 市河 麗子
 大 岡 久保田けさみ
 小島 田 斎藤 由明
 小島 田 清水 威子
 小島 田 高野 茂子
 西寺 尾 長澤 保

新米を神に捧げて鎮じまい
 紅梅や保存指定の武家屋敷
 父母のことば軽んじいばら道
 人生で鬼になる事二度三度
 ユーモアが四角い空気丸くする
 いよいよと免許返納すめられ
 内裏離愛でては命楚々と燃え

今井 高橋 清人
 青木 島 塚田 敏明
 堀 崎 飯島 教史
 唐 白 五十嵐立男
 内 堀 内山 克子
 大 岡 久保田立祐
 原 小林 伸江

●投稿者の個人情報は適切に管理し、JAだよりの
 文芸掲載に利用させていただきます。
 ●作品はご本名にて掲載いたします。
 ●宛先 〒388-8511 長野市篠ノ井市飽高田961-2
 JAグリーン長野 ぶんげいらん係
 ●応募締切:5月21日(月)

野菜が異常に高値で毎日少しずつ食べていた
 が、ようやく地元の春野菜が出回り、「春キャベツの
 豚ソテードレッシング」をさっそく作りました。久し
 ぶりにキャベツたっぷりおいしかったです。
 (篠ノ井 伊藤さん)

●豚ソテードレッシングは春キャベツはもちろん、
 レタスやアスパラ等の春野菜にもピッタリ!豚ソ
 テードレッシングとともに、モリモリ地元産野菜を
 召し上がってください。

野菜作りは本当に楽しいです。ご近所からいただ
 いた白菜の苗を植え、楽しみにしていたら虫がびっし
 り。あちこち穴だらけで、しかも中まで。残念ながら
 食べることができませんでした。それでもめげずに
 春の野菜づくりに挑戦です。(川中島 ポスコさん)

●よほどおいしい出来だった…という興奮は
 余計に悔しくなってしまうでしょうか?今年こそは
 おいしい野菜がポスコさんの口に入りますように。

自宅前のミニ公園の桜もハラハラと舞い落ちて今年
 の桜も終りました。いよいよ果樹づくり中心のオイ
 ラにも「はよ一動け」とおしりを押されている感じで
 す。百姓はおてんとうさんに左右されます。今年一年
 が災害もなく平穏に過ごせたらいいなと思います。
 (若穂 サンシャインさん)

●私も動け一と書かれている気がしています。災害の無
 い年で、みなさんが笑顔で収穫を迎えられますように。

先月号の「自宅でできる転倒予防体操」ペー
 ジを切り取って、台所の壁に貼り、仕事の合間
 にやっています。体ものびて血のめぐりもよ
 くなり気持ちいいです。すくを出して続けて
 いきたいです。(松代 滝井さん)

●コツコツ、無理せず、続けていくことが
 体のためにも大事ですね。リフレッシュに
 もなりますし、今後も継続してください
 ね。

現在休耕地が多くあり、何ぞ植えようか考
 えています。(篠ノ井 プンちゃんさん)

●16ページを参考にしてみてください!

昨年は思いがけずトマトの出来が良く、おい
 しいトマトがたくさんとれ、家族に喜ばれま
 した。今年も頑張るぞ!(相模 幸村さん)

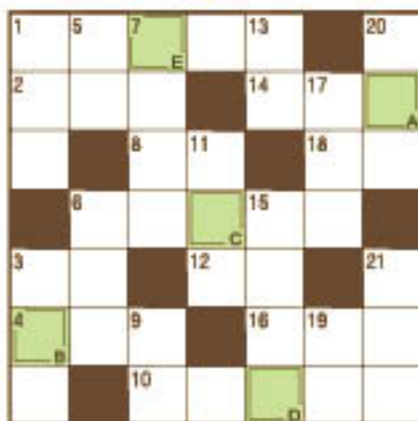
●喜ばれるとやる気百倍ですね!量作を
 祈っています。

年齢とともに足腰が弱くなったと感じていま
 す。「自宅で出来る転倒予防体操」は即実践さ
 始めています。(川中島 けいちゃんさん)

●気になったことは即実践、私も見習いま
 す!

脳カアップ クロスワード

クロスワードの正解者の中から55名の方に
 JAまでこの雑誌をプレゼント!



- ヨコのカギ
- ① 潮の引いた浜で貝を探します
 - ② マジシャンが披露するもの
 - ③ ストー夫人の著書「アングルトムの○○」
 - ④ 輪のある感屋として知られています
 - ⑤ 急いで記した文字のこと
 - ⑥ 野球部の監督が選手に○○を飛ばした
 - ⑦ 動物がよく通る所にできます
 - ⑧ 魚やイカの呼吸器官
 - ⑨ 化粧をするときにのぞきます
 - ⑩ イースター島の巨大な石像
 - ⑪ 同伴者のこと

- タテのカギ
- ① ここには○○○・力点・作用点があります
 - ② 5月5日は○○○の日、国民の祝日です
 - ③ 父や母の兄弟です
 - ④ 川の流れの急な所
 - ⑤ 別名は虞美人草、ポピー
 - ⑥ 日本庭園だとコイが泳いでいることも
 - ⑦ 刃物で紙に描きます
 - ⑧ 生物や化学を学ぶ教科
 - ⑨ 新地ではない衣装
 - ⑩ バイオリンや笛のこと
 - ⑪ 鳥よけに張ることもあります
 - ⑫ 唱歌「春の小川」の歌詞に出てくる花
 - ⑬ レインとも呼ばれる果物

①クイズの答え
 ②氏名(ペンネーム)
 〒住所
 年齢
 性別
 電話番号
 ③JA・応募誌へのご意見・感想
 日頃のできごとなど、ご自由に
 ご記入ください!
 (※たよりのコーナーに掲載させて
 いただく場合があります)

388-8511
 62
 JAグリーン長野
 クロスワード係
 長野市篠ノ井市飽高田961-2
 0261-961111

※レイアウトの都合上、回答欄が小さく、ご不便を
 おかけしております。何とぞ御容赦いただきます
 ようお願い申し上げます。

応募ハガキの記入方法

※応募に際しご記入いただいた個人情報、
 本誌編集および当選品発送以外には
 使用しません。●応募締切:5月31日(木)

3月号の出題者(応募総数62通)
 ○伊東秀人さん ○南沢千恵さん ○酒井康夫さん ○神林しげ子さん ○大日方町子さん

やさしい塾 今月のオススメ トマト

オススメ品	桃太郎	定	5~6月	収	7~10月	収穫量	1トン/1アール
オススメ種	桃太郎ヨーク	種		種			



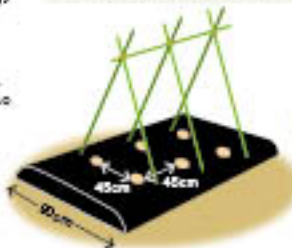
1 畑の準備・支柱立て

植え付けの2週間前までに苦土石灰と堆肥をまく。
また、植え付けの1週間前までに元肥をまく。

- 苦土石灰… 1㎡あたり150g
- 堆肥 …… 1㎡あたり3kg
- 元肥 …… 1㎡あたり50~80g
(ひと握り約40~50g)

UP!! 農カupポイント
トマトは根張りが良いので、深く耕しましょう!

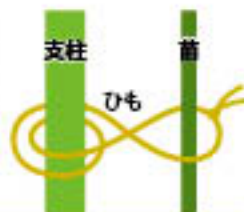
高畝をつくり、マルチを張って、植え付け前に地温を上げておく。マルチを張ったところで支柱を立てる。事前に植穴も掘る。



2 植え付け・誘引

植え付けの前日に、植穴に水をたっぷりやる。苗は根鉢を崩さないように、「浅植え」する。この時、花房を通路側に向けて植えつける。(花房は同じ方向につく習性があるため、収穫しやすくなる)

苗を植えたら、倒れないようにすぐに支柱に誘引する。茎が太くなくても支障がないように、ゆとりをつくって「8の字」に轉ること。



4 追肥

果実がゴルフボール大の頃、1回目の追肥を行う。マルチをあげて畝の両部にまく。2回目以降は樹勢(葉勢)を観察しながら行う。

3 芽かき・摘果

本葉のつけ根から出るわき芽は小さいうちに摘み取る。この時、ハサミを使うとウイルスが伝染する恐れがあるので「手」でかき取ること。

1つの花房につき、果実を4~5玉つけ、あとは摘み取る。



葉勢で見る追肥適期

栄養適正	栄養過剰	栄養不足
↓ 追肥必要無し	↓ 追肥遅期	↓ 至急追肥
茎の太さが1~1.2cm、葉はお皿を伏せた程度の曲がり具合。葉色が濃く、毛もよく伸び、みずみずしく感じる。	葉が内側に向かってぐるりと巻いていけば樹勢が強い証拠。葉面は凹凸ができ、葉はカールする。	葉柄が細くて節間が間延びし、葉がパンザイするように上に向かってY字形になっている。葉色はあせ、葉が硬化し上巻き気味。

お問い合わせ 営農部 tel.292-0930

農業機械センター 土・日の営業日程

農業機械センターの6月中旬までの土・日の営業日程をお伝えします。

- …全日営業 (8:30~17:10)
- △…午前営業 (8:30~12:00)
- 空欄…**休み**

農機を扱う時には安全使用を心がけましょう!

	5月						6月			
	12	13	19	20	26	27	2	3	9	10
農機センター(TEL)	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日
篠ノ井 (Tel. 292-1369)	△		△	○	○	○	○	○	○	○
川中島 (Tel. 284-1671)		△		△		△	○	○	○	○
松代 (Tel. 278-8601)	△			△	○	△	○	△	△	△
更北 (Tel. 283-5043)		△			△	△	○	△	○	△
若穂 (Tel. 282-6025)			○	△	○	△	○	△	○	△
備田 (Tel. 299-2225)	△	△	○	△	○	△	△		△	

もも塾

これからの時期に行う作業のひとつ「摘果」。摘らい、摘花に続いて行い、高品質な果実生産、樹勢の維持等に欠かせません。樹勢や日当たり等に気を配りながら、適正な着果数へと調整していきましょう。



1 摘果

【摘果前の状態を観察】

■満開後20日頃になると、生理落下する果実は果面の一部が茶緑色になり、生気を失う。満開後30日頃までに自然に落下することから、実止まりの確認ができる。

■受粉した果実(落果しないもの)は、がく片が基部から離れ、しなびてくることから、目安にすると良い。

【予備摘果と仕上げ摘果】

■花数や果実数が多いと、果実が小さくなったり、樹全体の生育にさまざまな影響を及ぼすため、余分なつぼみ、花、果実を摘引くことが必要。
また、摘果を一回で済ませようとすると、栄養が果実に集中し、急激な果実肥大による核割れ等が発生するなど、品質に影響が出る。必ず「予備摘果」「仕上げ摘果」と段階を踏んで落としていくこと。

【予備摘果の時期・効果】

■予備摘果は、特に果実肥大に効果的。時期を逸すと肥大効果が薄れるとともに、果柄が硬くなってとれにくくなるため、作業遅れに注意すること。

■予備摘果は、品種によって開始時期を変える。
結実が良い品種(白鳳、あかつき、なつっこ等)は満開後20日頃からとりかかる。
結実が不安定な品種(川中島白桃、秀峰等)は、満開後30日頃からは、川中島白鳳は最後に摘果すること。

■今年(2018年)の満開日は4月17日頃。
満開日から数えた予備摘果時期の目安は次のとおり。
・結実良好品種・・・5月初旬頃～
・結実不安定品種・・・5月中旬頃～

<注意>気候により結実量が特に少ない年は、樹勢を調節するとともに生理落果を抑制するために、予備摘果を遅らせるか見送ることが必要。

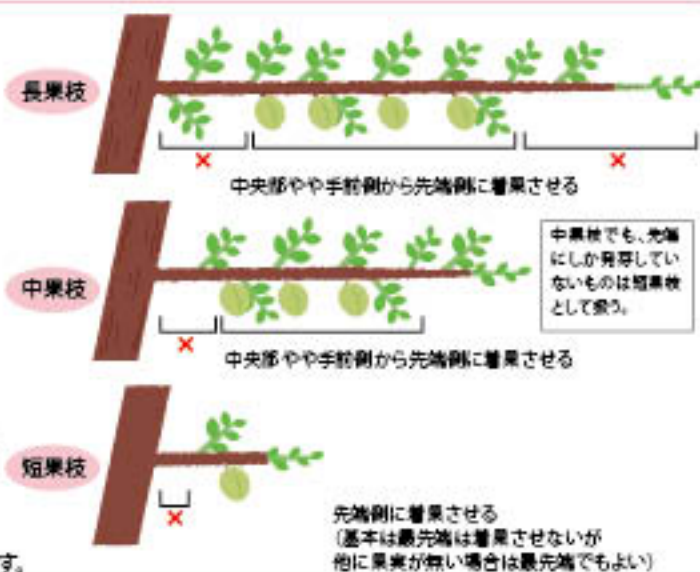
【予備摘果による着果量と着果位置】

■着果量は、「仕上げ摘果」の倍の量が基準。

- ①長果枝(30cm以上)
 <予備摘果>中央から先端に4～5果
 <仕上げ摘果>中央から先端に1～2果
- ②中果枝(30～10cm)
 <予備摘果>先端側に2～3果
 <仕上げ摘果>先端側に1果
- ③短果枝(10cm以下)
 <予備摘果>先端に1果
 <仕上げ摘果>枝5本に1果

■落とす・残す果実の目安

- ①大きくて扁平なものを残す。
- ②小さい果実、奇形果、病害虫被害果は落とす。
- ③同節に2果着果しているものは1果にする。
- ④葉芽がある果実を残す。
- ⑤やや上向きからやや下向きの果実を残す。
- ⑥主枝や副主枝上の果実、結果枝の基部は落とす。



お問い合わせ 営農部 tel.292-0930

行こう!遊ぼう!
JAファーム店

5月のオススメ

もっとJAファームに行きたくなる!オススメ農業資材を紹介します!

家庭菜園用向け トマトの雨よけセット

雨が苦手なトマトやナスの雨よけにピッタリ!実の裂果を防止するとともに、疫病対策になります。

苗が小さいうちから雨よけを設置しておくと、萎凋病などの病気の発生の抑制にもつながります。



幅……………約1.3m
奥行き……………約1.8m



幅……………約1.9m
奥行き……………約1.8m

通常タイプ 価格 **3,580**円(税込)

ワイドタイプ 価格 **4,600**円(税込)

お問い合わせ
JAファーム篠ノ井店
☎299-3311
JAファーム松代店
☎290-6363

コギクの新規栽培者募集

花き部会主力品目のひとつ「コギク」の栽培者を募集しております。次年度の「8月盆」の出荷をめざした説明会を開きます。ご興味をお持ちの方は、必ずお電話にてお申し込みのうえ、ご参加ください。

①更北宮農資材センター会場

日 時：5月23日(水) 14:00～
会場住所：真島町真島2295-1
(JA 真島支所敷地内)

②東部青果物流通センター会場

日 時：6月 3日(日) 10:30～
会場住所：篠ノ井東福寺1940-1

③川中島宮農資材センター会場

日 時：5月30日(水) 14:00～
会場住所：川中島町御厨895-3
(川中島共選所内)

コギク栽培の特徴

定 植：秋(9月)

出 荷：7月下旬～8月中旬(盆)

栽培条件：・露地栽培

・スーパーや量販店向けのため、実需者が加工しやすい形状をめざして栽培

目 標：10アールあたり2万8千本(1本30円)

オススメポイント

1. 花をはじめてつくる人でも取り組みやすい
2. 露地栽培のため、初期投資の負担が少ない

お問い合わせ・申込み

①・②会場 宮農部(担当:塩野) tel.292-0930

③会場 川中島宮農資材センター(担当:柴田)
tel.284-1070

“パルセイロ農園”参加者募集!

JAはAC長野パルセイロと連携し、子どもたちに農作業を体験してもらい、農業の楽しさや大切さを感じてもらおうと、「パルセイロ農園」を開きます!第1弾は「田植え」。パルセイロ選手も来るかも?!ぜひご参加ください。

第1弾 パルセイロと一緒に昔ながらの田植えに挑戦だ!

日 時：5月27日(日) 10:00～12:00(受付9:30～)

場 所：松代町

対 象：小学生以下の児童とその保護者

定 員：10組

募集期間：5月15日(火)～22日(火)

※先着順・定員になり次第締切

参 加 料：1人500円 ※傷害共済ほか

特 典：JA×パルセイロオリジナル「軍手」

申 込 み：お電話にてお申込みください

締切後、案内通知を送付します

お問い合わせ・申込み

総合企画部企画広報課(担当:田中) tel.293-2000

30年度 組合員健康企画
第1弾 自然植物園を歩こう!茶臼山ノルディック

組合員みなさまの健康増進に向け、今年も「組合員健康企画」を開催します!

第1弾は、自然豊かな里山、茶臼山の山腹にあり、33ヘクタールの広さを持つ県内有数の大きな自然公園「茶臼山自然植物園」内を歩くノルディックウォーキングです。

さまざまな植物にふれ、自然や景色を満喫し、参加者みなさんとの会話も楽しみながら、一緒に歩きましょう!

年齢、男女は問いません。ご夫婦、ご友人同士はもちろん、お一人様でも大歓迎。組合員以外の方もご参加いただけます。ぜひ、お気軽にお申し込みください。



第1弾 自然植物園を歩こう!茶臼山ノルディック

開催日時：6月15日(金) 9:00～13:00

コ ー ス：茶臼山自然植物園 約3km

集合場所：茶臼山自然植物園 入口駐車場

定 員：30名(定員になり次第締切)

参 加 料：300円(おにぎり・お茶・保険料込み)

※組合員以外の方は400円

持ちもの：ノルディックポール

※ノルディックポールは貸出可能

申込方法：お電話にてお申込みください

後日、案内通知を送付します

締 切：5月25日(金)

お問い合わせ・申込み

生活部生活福祉課 tel.293-2061

経営所得安定対策申請は5月末まで

「30年度経営所得安定対策」の申請期限がせまっています。

「米」をはじめ、水田や畑で「麦」「大豆」「そば」を栽培する生産者のみなさまは、所得・自給率向上にこの制度をご活用ください。なお、「麦」「大豆」「そば」は、認定農業者・集落営農・認定新規就農者が申請対象となります。

申請時に必要な書類

- (1) 経営所得安定対策等交付金にかかる「宮農計画書」
〃 「水稻生産実施計画書」

(2) 「交付申請書」

「数量播種前契約」

※(2)の書類は、宮農計画書にて、経営所得安定対策交付申請予定に〇印をつけた方に対し、5月中旬頃に長野市より郵送されます。

JAへの提出期限 5月31日(木)

JAでは申請者からいただいた書類内容を事前に確認し、長野市に申請しております。そのため、長野市への提出期限(6月末)より1カ月早めに期限を設定しておりますので、ご理解をお願いいたします。

提出先

宮農部、各宮農資材センター、JAファーム各店

お問い合わせ・申請先

宮農部(篠ノ井布施高田944-1)

tel.292-0930(担当:神戸)

平成30年度 定期人事異動について

4月6日付で人事異動をいたしました。
組合員みなさまのご指導をお願いいたします。

[新部署(旧)氏名]

監査室次長(総合企画部次長兼企画広報課長)
総合企画部次長兼企画広報課長(管理部次長兼経理課長)
総合企画部開発課長(同部同課長代理)
管理部次長兼リスク統括課長(共済部査定課長)
管理部次長兼経理課長(監査室次長)
金融部融資課長(篠ノ井支所融資課長代理)
金融部ローンセンター長(松代支所融資課)
生産販売部若穂果実流通センター所長(営農部営農指導課長代理)
生産購買部更北農業資材センター所長(同部若穂農業資材センター所長)
生産購買部若穂農業資材センター所長(同センター)
生産購買部篠ノ井農業機械センター長(同センター長代理)
生産購買部信田農業機械センター長(同センター長代理)
生産購買部更北農業機械センター長(同センター長代理)
生産購買部松代農業機械センター長(篠ノ井・信田農機センター長)
生産購買部川中島農業機械センター長(松代農機センター長)
生活部次長(御厨支所長)
篠ノ井支所金融融資課長(金融部推進企画課長)
堀崎支所長(中津支所長)
共和支所金融共済課長(更府支所同課長)
更府支所金融共済課長(中津支所)
大岡支所長(真鳥支所金融共済課長)
松代支所金融共済課長(共和支所同課長)
中津支所長(堀崎支所長)
御厨支所長(生活部次長兼生活福祉課長)
真鳥支所金融共済課長(松代支所同課長)

中村 剛
横谷 豪
上野 晃
笠井 主税
近藤 和紀
羽田 徹
上原 洋一
松沢 一彦
橋本 寿雄
宮澤 公一
北島 尚明
北澤 貴之
小林 保広
寺澤 義則
倉嶋 勝
山岸 直樹
平林 健司
柳澤 竜也
宮坂 英樹
池田 一義
伊藤 好和
村井 一成
平松 浩
岸 勝彦

平成30年度 新入職員について

4月2日付で、新入職員を迎えました。
組合員みなさまのご指導をお願いいたします。

[氏名(配属先)]

窪田 英倫 (総合企画部開発課)
水谷 文彰 (営農部営農指導課)
丸山 泰成 (営農部営農指導課)
倉田 朋和 (営農部理苗センター)
村田 彩斗 (生産購買部農業資材課)
宮原 和希 (生産購買部川中島農業機械センター)
大日方瑞穂 (生活部生活福祉課)
米倉 旭花 (金融部資金営業課)
後藤 萌里 (篠ノ井支所金融共済課)
込山 波月 (篠ノ井支所金融共済課)
小林 遼太 (堀崎支所金融共済課)
井出 共栄 (共和支所金融共済課)
真 博球 (篠ノ井支所金融共済課)
森田 真由紀 (信田支所金融共済課)
堀内 勇希 (松代支所金融共済課)
津津 綾音 (松代支所金融共済課)
永井 蒼大 (松代支所金融共済課)
中村 あづみ (松代支所金融共済課)
竹本 将康 (中津支所金融共済課)
楡井 貴大 (御厨支所金融共済課)
南澤 汰亮 (川中島支所金融共済課)
中村 莉歩 (更北支所金融共済課)
丸山 智也 (更北支所金融共済課)
高山 桃奈 (青木島支所金融共済課)
小林 龍矢 (真鳥支所金融共済課)
久保田奏美 (若穂支所金融共済課)

平成30年 定年退職について

3月30日付で次の職員が定年退職いたしました。
なお、引き続き新たな部署にて勤務いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

[氏名(旧)新部署]

湯本 一部 (生産購買部JAファーム篠ノ井店監理役)東部青果物流通センター長
宮沢 貴弘 (線内支所考査役)線内農業資材店
青木 美恵子(大岡支所長)生活部生活福祉課

くらしのセンター(LPガス)事業所移転について

事業運営の効率化に向け、くらしのセンター・LPガスセンターを移転し、
6月4日(月)より営業いたします。なお、電話番号に変更はありません。
みなさまのご理解をお願いいたします。

移 転 先：営農部・生産販売部建物横(篠ノ井ローンセンター内)
住 所：篠ノ井布施高田944-1
電 話：293-1845・293-1849(LPガス専用)



クールビズ 対応について

環境省がすすめる地球
温暖化防止対策に伴い、各
支所および事業所では、5
月1日から10月31日まで、
「クールビズ」を実施して
おります。

みなさまのご理解とご
協力をお願いいた
します。



JAの動き

理事会

4月27日の理事会において、次の事項を協議し、承認しました。

- (1)平成29年度決算監事監査報告書について
- (2)独立監査人の監査報告書について
- (3)検査指摘事項に対する改善状況等の報告について
- (4)平成30年度事業計画について
- (5)第25回通常総代会の提出議案について
- (6)剰余金処分案について
- (7)目的積立金の取崩しについて
- (8)長野県信用農業協同組合連合会への出資増口について
- (9)農産物発注事業について
- (10)「株」ジェイエイグリーンについて
- (11)理事構成に関する整備方針の策定について

監事会

4月24日の監事会において、次の事項を協議し、承認しました。

- (1)平成29年度決算監事監査報告書について
- (2)中央会監査の方法及び結果の妥当性について
- (3)第25回通常総代会資料における監査報告書について
- (4)その他

コンプライアンス(法令等遵守)への取り組み

経営会議 4月17日

- (1)コンプライアンス(3月)の実施状況について
- (2)自主検査結果H30.3月の実施状況について
- (3)管内会議H30.3月の実施状況について

第1回リスク対応会議 4月23日

- (1)コンプライアンス(3月)の実施状況について
- (2)自主検査結果H30.3月の実施状況について
- (3)管内会議H30.3月の実施状況について

専務による全支所巡回 4月23日~4月25日
内部統制の徹底および事業目標の明確等について
支所長面談

菜の花のサバみそ添え



【材料】4人分

菜花	300g
サバの味噌煮缶詰	1缶
タマネギ	2分の1個
ニンジン	4分の1本
ゆでたけのこ	50~60g
ショウガ	5~10g
ごま油	大さじ1
(お好みでネギ…適量)	

【作り方】

- 1 菜花はサッとゆで、3~4cmの長さに切る。缶は火が通りやすい大きさに切り、ショウガは千切りにする。サバ缶は身を取り出し、箸で一口大にほぐし、汁は味付け用に残す。
- 2 フライパンを中火にかけてごま油を熱し、ショウガ、ニンジン、ゆでたけのこを順に入れて炒める。火が通ったら、菜花を入れて炒め合わせ、サバ缶の汁で味を付け、火からおろして器に盛る。
- 3 サバの身を、アルミホイルを敷いたフライパンで焼き、焼き目をつけたら、2の上に盛り付けてできあがり。



【お料理メモ】

- ❖ サバを焼くときにオーブントースターを使うと、より簡単にできます。
- ❖ ホウレンソウやコマツナなど季節に応じた青菜を代用してもOK。ゆですぎないように気を付けましょう。
- ❖ お好みできざんだネギを散らすと風味がアップしますよ。

女性部
若穂総支部の
みなさん

